

笑顔で訪問

- りはなす通信 -

EVERYDAY

Vol.2



3月から開始した「りはなす通信」、今回で二回目の発行になります。今後も隔月で発行していく予定にしていますので宜しくお願い致します。

リハナス株式会社の社訓を紹介したいと思います。

「私はなにををする人ぞ」

一つ一つの仕事、行動、言動全てにこの言葉を投げかけるようにしています。

- 医療介護福祉のプロフェッショナルとして
- 在宅生活を支える訪問看護ステーションとして
- 組織の中の個人として
- 一人の人間として

常に自分たちの出来ること、可能性に全カプレー致します！

筑豊に住んでいる支援を必要とされている方に対し、筑豊で生まれ育った私たちがプロフェッショナルとして支える事にやりがいと喜びを感じております。

代表取締役 瀬尾 徹

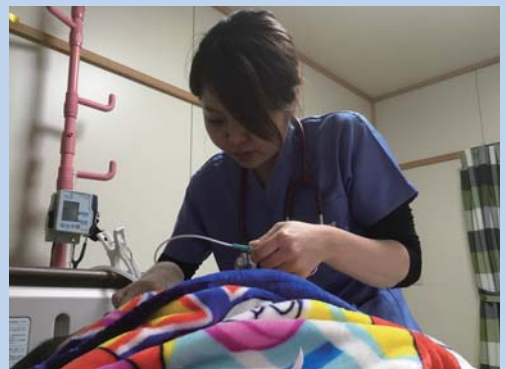
4月から入社しました看護師の橋詰由加です。

3月までは消化器内科、神経内科と内科系病棟で9年間勤務してきました。訪問看護は、小児から高齢者と年齢層が幅広いことや、病状が様々であるため戸惑うことも多々ありますが、利用者様やスタッフに支えてもらいながら日々奮闘しております。

1時間がその方だけの時間というのは病棟の看護ではなかなか味わえないことであるため、利用者様とじっくり向き合って看護できることに喜びを感じながら、利用者様とご家族の生活を全力でサポートしていきたいと思います。“りはなすが来てくれるから安心”と思って頂けるよう、一人一人の気持ちに寄り添った看護を目標に頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

橋詰 由加

スタッフ紹介



りはなす色

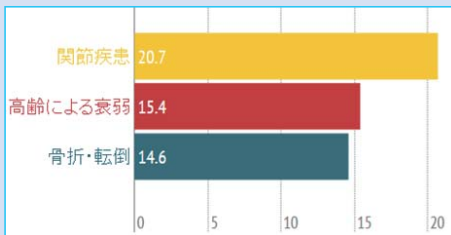
一番上の写真は、4月23日に行われた川崎町のプロモーションビデオの撮影に参加させていただいた時の写真です。コウメ太夫さんと一緒にダンスさせていただきました。また、6月4日に田川市で開催される「NHK のど自慢」にも応募しています。(予選通るといいなあ・・・)

当ステーションは現在、管理者の高橋を中心に平均年齢32.1歳と若いスタッフで構成されています。地域の活動にも積極的に参加していき、笑顔とフットワークの軽さを前面に出し、少しでも利用者様に愛されるステーションを目指していきたいと思います。

今回は転倒についてお話したいと思います。

転倒は老年症候群の1つとされていますが、すべての人にとって、いつ発生するかもしれない非常にありふれた事故です。ここでは高齢者の転倒に絞ってお話しします。高齢者の方は自宅内での転倒が多く、特に室内での転倒が多いと報告されています。原因としては住宅の段差や床の物に引っかかるなどの外的要因の他、筋力の低下や、認知機能低下が低下するといった内的要因があります。

厚生労働省が発表している「国民生活基礎調査（平成25年度版）」によりますと、介護が必要となった主な原因として上位を占めているのは、要支援者の第3位に骨折・転倒となっています。



これは、大腿骨など下半身の骨折の方が上半身より多いため立ち歩くことが出来ず、寝たきりの原因となることも多いのです。

転倒予防の対策として、

- 1 住まいを転倒しにくい環境に整備する
- 2 筋力やバランス力を強化する

転倒予防に心がけ、安全で安心な生活を送りましょう。

亀谷 文弥

おすすめ体操

バランス能力をつけるロコトレ「片脚立ち」



背筋を伸ばして真っすぐ立ち、片脚を5～10センチ浮かす。左右1分ずつで1セット。

1日3セットが目安です



- 支えが必要な方は、十分注意して、机に両手や片手をつけて行います。
- 指をついただけでもできる場合は、机に指先をつけて行います。

りはなす訪問看護ステーションは機能強化型訪問看護ステーションを目指します。

※機能強化型訪問看護療養費2算定要件

- 常勤看護職員5人以上
- 24時間対応体制加算を届け出ていること
- ターミナルケア件数を合計した数が年に15以上
- 居宅介護支援事業所を同一敷地内に設置すること。
- 休日、祝日等も含め計画的な指定訪問看護を行うこと 等

緊急時 365日
24時間対応

りはなす
EHANUR E 訪問看護ステーション

TEL:0947-85-8110 FAX:0947-85-8120

〒822-1316 福岡県田川郡糸田町 2241 番地 9